News Release

株式会社山陰合同銀行
〒690-0062 島根県松江市魚町 10
TEL.0852-55-1000
https://www.gogin.co.jp

2022 年 1 月 20 日

株式会社カンダ技工による
「ごうぎん SDGs 経営応援サービス」の利用について

山陰合同銀行（頭取　山崎 徹）では、「ごうぎん SDGs 経営応援サービス」を通じて、株式会社カンダ技工（本社：鳥取県米子市、代表取締役社長　中山 哉）が SDGs 宣言を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

【企業概要】

１．会社名	株式会社カンダ技工
２．所在地	鳥取県米子市河崎1008-1
３．代表者	中山　哉
４．業　種	食品加工機械製造事業・未利用資源開発事業
５．SDGsへの取り組み	設立当初からの変わらぬ事業テーマは「地球環境」 私たち人類が生活している地球が、人類の行いに依るプラスとマイナスが近年急激に変化しつつあり、地球もバランスが取れなくなってきているなか、個人としてまたは組織として行動しなければならない待ったなしの時期が来ています。 当社は、自然のモノを100%有効活用し廃棄物を無くす事業形態の輪をさらに広げ、未来の地球環境を守るとともに人々の健康と生活の安全安心づくりに貢献します。 また、省エネリサイクル装置開発による新たな有効活用素材の技術開発を確立し社会に貢献するとともに、社内チームリーダーの育成と持続可能な開発目標テーマの実績継続発表を推進し地球・人類等への貢献度を数値化し、企業としての社会的役割の見える化を果たし持続可能な地球環境保護と地域社会・企業との連携を推進し、協力して持続可能な社会実現に貢献してまいります。

※「SDGs宣言」および「ごうぎんSDGs経営応援サービス」の概要は別紙をご参照ください。

以　上

山陰合同銀行グループは、国連の定めた持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）の趣旨に賛同し、
地域の課題解決に取り組むことで、持続可能な地域社会の実現を目指します。
※ＳＤＧｓ(Sustainable Development Goals の略）：2015 年 9 月の総会決議で国連加盟国が採択した、
2030 年までに達成を目指す 17 の持続可能な開発目標と、これを達成するための 169 のターゲットのこと。

株式会社 カンダ技工
SDGs宣言書

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、

持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2022年1月11日

株式会社 カンダ技工
代表取締役社長　中山　哉

◆経営方針
「ものづくりへの挑戦」と「資源を活かす経営」を通して世の中の役に立つ価値を創造します。
◆目指す姿
「もともと地球に存在しているモノに捨てるモノはない。地球資源の100%有効活用と、
それに伴う消費エネルギーの低下を目指す」、これはカンダ技工の事業テーマの一つでもあります。
下記取り組みをさらに推進し、ゴール14、15をはじめとしたSDGsの達成に貢献していきます。

SDGsの達成に向けた取り組み

廃棄物の削減・活用

未来の地球環境を守るため、廃棄物の有効活用や削減、
リサイクル等の活動と消費エネルギーの削減に努めます。

＜具体的な取り組み＞

廃棄物から有効成分を抽出し、製品化や還元することにより、未利用資源を有効活用／廃棄物排出量の削減、リユース・リサイクルの推進／廃棄物の管理体制の強化（廃棄物処理法の順守、廃棄物管理責任者の選任等）

― 関連ゴール ―

地産地消の推進・活用

地域産の材料素材・食品・製品などの地域資源を積極的に活用しながら、保有する技術力を発揮し、地元名産の水産物や農産物を活用した新製品・素材と新技術の開発に注力します。

＜具体的な取り組み＞

自然のモノを100%有効に使うというテーマのもと、保有する技術力を発揮し、地元名産の水産物残渣や海藻から有効成分の抽出、農産物廃棄品や残渣の各種乾燥・粉砕・殺菌で各素材原料への活用及び製法開発提案

― 関連ゴール ―

ESG/SDGsの理解・取り組みの表明

会社としてSDGsへの取り組みを決め、その社会的な意義や自社にとっての目的を従業員に伝え、社会に貢献します。
外部研修の受講や社内での勉強会等で知識習得する機会を積極的につくります。

＜具体的な取り組み＞

SDGsを取り入れた経営方針・経営計画の表明／行政のSDGs登録制度への参画／SDGsの取り組みのホームページでの情報開示／従業員へのSDGsに関する教育研修の実施／SDGsに関連する社内への情報発信

― 関連ゴール ―

環境保全・森を活かす取り組み

持続可能な社会の実現のため、環境意識の更なる向上や「未来へ森をつなごう」をキャッチフレーズにCO2を吸収する森づくりを進めることにより、貢献してまいります。

＜具体的な取り組み＞

ソーラー発電設備の設置／J-クレジットの推進／カーボン・ニュートラルの推進／廃棄物削減の取り組み／国立公園大山・中海の一斉清掃の参加/竹林整備等から排出される竹の食品への応用

― 関連ゴール ―

SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable　Development　Goals（持続可能な開発目標）」の略称。
2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【別紙】

【本サービスの概要】

１．名　　称	ごうぎんSDGs経営応援サービス
２．対象となる方	当行と取引のある法人及び個人事業主のお客様
３．サービス内容	【無料サービス】 ・チェックシートを活用して、お客様のSDGsへの取り組み状況について把握を行い、結果リポートを作成いたします。 ・作成した結果レポートにより診断結果をお客様に提供いたします。 【有料サービス（５５，０００円税込み)】 ・お客様との面談、結果レポートの活用により、ホームページへの掲載等に使用可能な「SDGs宣言」の策定をサポートいたします。 ・またご希望により、当行からニュースリリースを実施し、対外的な情報発信をいたします。

※チェックシートの作成については、地域企業のSDGsへの取り組み支援に賛同いただいた損害保険ジャパン株式会社およびSOMPOリスクマネジメント株式会社に協力いただいています。